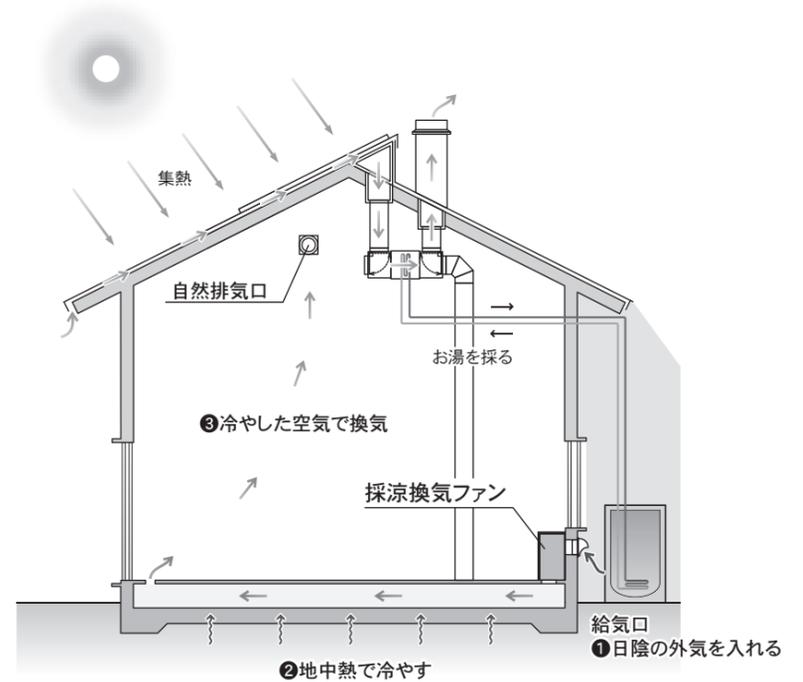


このたびは「採涼換気ファン」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

製品を使用する前に、本書の安全・注意事項をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。また、本書はいつでも読み返すことのできる場所に大切に保存しておいてください。



※このイラストはモデル図であり、各部の配置は実際には異なります。

- ①建物北側等の比較的温度の低い日陰の外気を採涼換気ファンで床下に導入します。
- ②土間コンクリートの蓄冷熱で空気の温度を下げます。
- ③床吹き出し口から空気を室内に供給します。室内の空気は自然排気口や開口部から排気されます。

絵表示について

本書では、以下のような表示を使って説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険の状態が生じることが想定される場合、その危険を避けるための注意事項です。

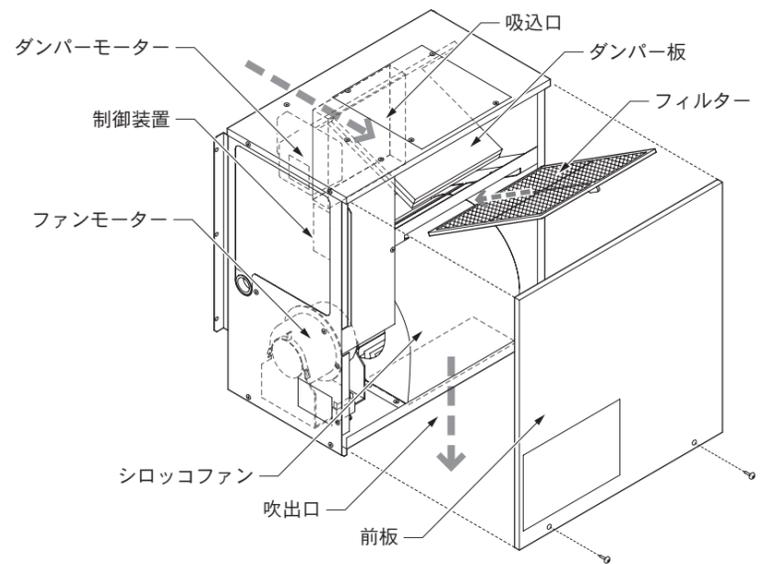
注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うか、または物的損傷のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合の注意事項です。

安全上の注意

警告
製品に水をつけたり、水をかけたりしないでください。 火災や感電の原因となる恐れがあります。
分解や改造をしないでください。 火災や感電の原因となる恐れがあります。
電源が入っているときは、製品にふれないでください。 感電やけがの原因となる恐れがあります。
お手入れ、点検をするときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。 感電やけがの原因となる恐れがあります。
前板をはずしたまま、運転しないでください。 けがや機器破損の原因となる恐れがあります。
機内（ファンなどの回転部）に棒や指などを入れないでください。 けがや機器破損の原因となる恐れがあります。
ケーブル類を傷つけたり、無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。 感電や火災の原因となる恐れがあります。
給湯器付近や駐車場等の腐食性ガスや可燃性ガスの滞留する場所への設置、運転はしないでください。 腐食性ガスや可燃性ガスが室内に侵入すると、一酸化炭素による中毒や死亡事故につながる恐れがあります。
異常（こげ臭いなど）を感じたときは、電源ケーブルをコンセントから抜き、施工工務店（販売店）へ連絡をしてください。
施工工務店（販売店）による定期的な点検、部品交換を行ってください。
注意
本書に記載された使用方法、目的以外で使用しないでください。
給気口、吹出口周辺は、通風の妨げにならないよう、十分に開けてください。 能力の低下や機器の寿命が短くなります。
ファンボックスを取り扱うときは、手袋を着用してください。 素手で取り扱うとけがをする恐れがあります。
お願い
フィルターは、2～3ヵ月に1回をめやすに清掃を行ってください。

各部の名称



■前板のはずし方

前板下部のビスを2箇所はずし、前板を下にずらしながら手前に引きます。

警告

分解や改造をしないでください。
火災や感電の原因となる恐れがあります。

前板をはずしたまま、運転しないでください。
けがや機器破損の原因となる恐れがあります。

機内（ファンなどの回転部）に棒や指などを入れないでください。
けがや機器破損の原因となる恐れがあります。

採涼換気ファンの運転

採涼換気ファンは、スイッチで運転、停止を操作する「単独運転」とハンドリングの運転モードに合わせて運転する「連動運転」があります。

単独運転のとき

単独運転のときは、設置されたスイッチを操作して採涼換気ファンを動かします。

ハンドリング連動運転のとき

ハンドリングの季節モードが夏で「排気お湯採り（屋根排気）運転^{*}」しているときに採涼換気ファンが動きます。（※排気お湯採り運転とは、おもて面の「採涼換気システムのしくみ」のイラストの運転です。）また、「夏の夜の外気取り込み運転」、「夏の運転停止」のときにも作動させる設定が可能です。設定を変更したい場合は、タッチパネルリモコン 操作説明書の別付けファン設定ページを参照ください。

スイッチを併用しているとき

スイッチを設置しているときは、スイッチを入れるとハンドリングの運転とは関係なく採涼換気ファンが動きます。この運転を強制運転とよびます。また、採涼換気ファンの運転中に強制的に運転を停止する設定に変更することもできます。設定を変更したい場合は、施工工務店にご相談ください。

⚠ 注意

冬季にスイッチを入れたままの運転状態にしないでください。
本体周辺の空気環境により本体に結露が発生することがあります。

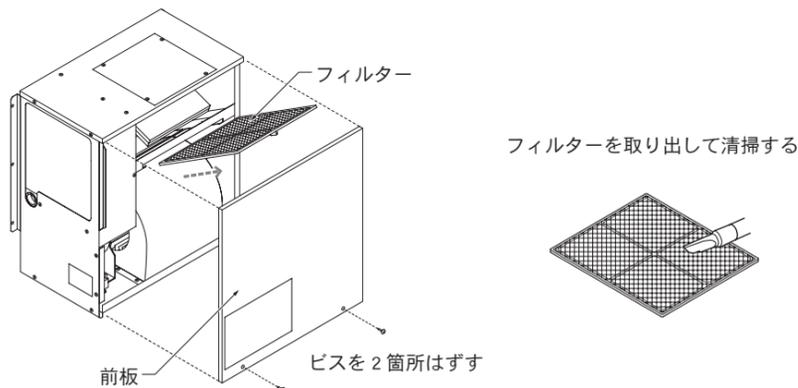
お手入れ

フィルターのお手入れ

フィルターは、2～3ヵ月に1回をめやすに清掃します。（使用環境によります。）

お手入れ方法

本体の前板をはずしてフィルターを取り出し、フィルターの汚れを掃除機で吸い取ります。汚れがひどいときは、水洗いして日陰でよく乾かします。



⚠ 警告

●必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて、ファンボックスを取り扱ってください。

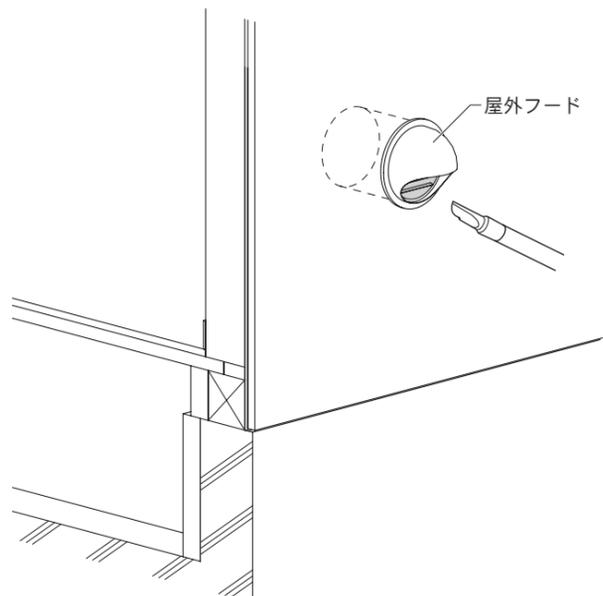
感電やけがの原因となります。また、ハンドリング連動運転しているときに電源ケーブルをコンセントから抜いていないと、採涼換気ファンが突然作動することがあり、大変危険です。

⚠ 注意

- お手入れをしないで使い続けると、能力の低下や機器の寿命が短くなります。
- フィルターを水洗いした場合は、完全に乾いてから戻してください。

屋外フードのお手入れ

屋外の壁面にある、採涼換気ファンへの給気口となる屋外フードの清掃を3ヵ月に1回をめやすに行ってください。

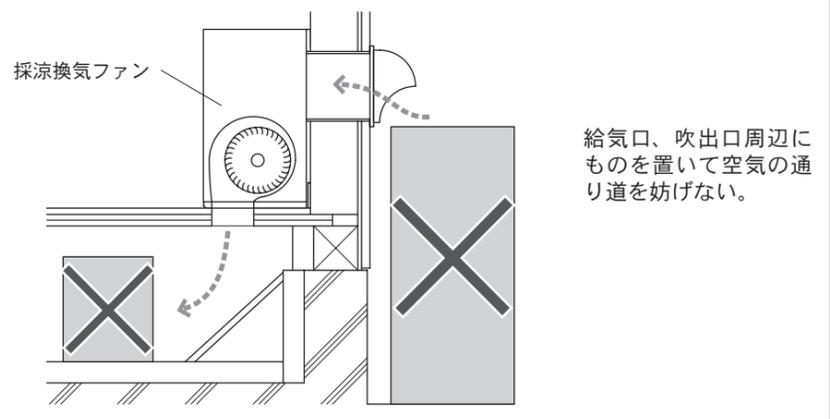


⚠ 注意

給気口・吹出口は通気をよくする

採涼換気ファンの給気口と吹出口周辺は、通風の妨げになるようなものや臭気・ほこりなどが発生するものを置かないでください。通風を妨げてしまうと、風量の低下や機器の寿命を縮めることとなります。

また、腐食性ガスや可燃性ガスが滞留する場所では使用しないでください。



部品交換について

部品の交換、修理をするときは、施工工務店にご相談ください。

交換が必要な部品	交換のめやす (3000時間/年)
フィルター	消耗品
電動機（ファンモーター）	8年
ダンパーモーター	5年
制御装置	5年

仕様

型式	OMS-03
外形寸法	幅 460mm × 高さ 465mm × 奥行 256mm
質量	14kg
外装	ガルバリウム鋼板
電源	AC100V・50 / 60Hz
電動機	単相誘導電動機
送風機	φ 150 鋼板製シロッコファン
最高風量 [50/60Hz]	300 / 320m ³ / h
消費電力 [50/60Hz]	31 / 36W 以下
騒音値 [50/60Hz]	35 / 37dB・A 以下
ダンパーモーター	DC24V（作動時間 23 秒）
フィルター	水洗再生式サラネット
運転	単独運転/連動運転（自立運転型（Y型）ハンドリングに対応）
使用条件	設置場所：屋内 周囲温度：0～40℃・相対湿度 90%以下（結露なきこと）
設置方法	床置き
設置方向	モーター軸水平

※本仕様は、改善のため予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

- 風量・消費電力・騒音値は、採涼換気ファン単体で機外静圧 0Pa 時の値です。
- 騒音値は、正面から 1.5m の位置で、無響音室で測定した値です。